

「電気通信主任技術者試験」 経歴証明書記入例

「○○○○年度第○回 電気通信主任技術者試験」 経歴証明書

【重要】この経歴証明書は、申請者の実務経歴を勤務先の会社の代表者から厳格に証明していただく重要な証明書です。作成に当たっては、裏面の注意事項及び「受験の手引き」をよく読み、申請者自身が記入・作成し、会社の代表者の証明を受けた上で受付締切日までに提出してください。

| | |
|------------|---------|
| 受付番号(記入不要) | ※ |
| 受験希望地 | 東京 |
| 受験種別 | 伝送交換 |
| 免除申請科目 | システム 設備 |

経歴事項

| 事業場名 | 実務経験期間 | | 指導監督の実務経験期間 | | 実務経験の内容 |
|--|---------------------------------------|--------------|--------------------------------|----------------------|---|
| | 年月日から 年月日まで | 年月日 日間 | 年月日 日間 | 地位・職名等 | |
| 所属会社名 ○○株式会社 実務に従事した事業場名等 事業場名 ○○部○○課 当該事業場を管理する電気通信事業者名 ○○通信(株) 当該電気通信事業者の許可/登録/届出番号 第○○号 | H26年 6月 1日 から H27年 3月 31日 まで | 1年 10月 日間 | 1年 月 日 日間 | 地位・職名等 | 受検種別に応じ、実務経歴として認められる業務に従事した業務内容を、ビル名(エリア名)、システム名、設備・装置名を含め6～7行程度にまとめ、具体的に記入してください。 (伝送交換設備 工事: 40% 維持: 30% 運用: 30%) (線路設備 工事: % 維持: % 運用: %) |
| 所属会社名 ○○株式会社 実務に従事した事業場名等 事業場名 ○○部 ○○グループ 当該事業場を管理する電気通信事業者名 (株)日本○○ 当該電気通信事業者の許可/登録/届出番号 A-○○-○○○○号 | H27年 4月 1日 から H28年 3月 31日 まで | 1年 月 日 日間 | 1年 月 日 日間 | 課長補佐 (係長以上の場合に記入) | 伝送交換と線路の業務を兼務した期間は、受検種別(伝送交換又は線路)に対応する業務内容のみ記入してください。 法で言う事業用電気通信回線設備以外の電気通信設備対象の業務は対象とはなりません。 (伝送交換設備 工事: 20% 維持: 40% 運用: 40%) (線路設備 工事: % 維持: % 運用: %) |
| 合計 | 実務経験期間の合計(頁毎) 1年 8月 日間 | | 指導監督の実務経験期間の合計(頁毎) 1年 月 日間 | | |
| | 実務経験期間の総合計(最終頁) 年 月 日間 | | 指導監督の実務経験期間の総合計(最終頁) 年 月 日間 | | |

実務経歴として認められない業務が20%ある場合の例

受検種別の業務において、左から2番目の枠の実務期間を100%として比率を記入

指導監督の実務経験期間は再掲

① 経歴証明は通常、複数枚の提出となりますので、記入前に原紙のコピーをとり、2枚目以降は、コピーした経歴証明書を使用してください。また、空欄となる箇所には斜線を引き、修正する箇所は二重線で消してください。様式が同じであればword、excelなどで作成したもので構いません。

② 「受験希望地」、「受験種別」欄は受験の手引きの「試験地」、「試験種別と試験時間」を参照して記入してください。「免除申請科目」欄は、○印で選択してください。

③ 「事業場名」欄
 ・事業場名は、実務に従事した部名、課名又はグループ名/担当名まで記入してください。
 ・電気通信事業者の許可/登録/届出番号については、電気通信事業法改正(平成16年4月)により、登録、届出制となっていますので注意願います。届出は事業用電気通信回線設備を設置している届出事業者が対象となります。

④ 「実務経験期間」欄
 ・受検種別を経験した期間を記入してください。
 ・一つの行(作成枠)は1年以下の単位で記入してください。
 ・例外として高等学校卒業学歴で免除申請をする方は、「実務経験期間」欄の一つの作成枠は3年以内で記入してください。ただしシステムのみ免除申請の方は1年以内で記入してください。
 ・(伝送交換又は線路実務期間の割合: %)欄は所属期間に対する受検種別の業務期間の割合を%で記入してください。実務経歴として認められない業務が含まれる場合はその業務量分を引いた割合を記入してください。
 ・伝送交換と線路業務を兼務した期間は業務量を案分し(各受検種別の実務期間の割合: %)欄に割合を記入してください。
 ・「実務経験期間の合計(頁毎)」はページ毎の小計を記入してください。
 ・「実務経験期間の総合計(最終頁)」に総合計を記入してください。

⑤ 「従事した業務の具体的な内容及び工事・維持・運用の実務割合」欄
 ・受検種別に応じて実務経歴として認められる業務の具体的な業務内容を記入してください。
 ・業務内容をビル名(エリア名)、システム名、設備・装置名等を含め、あなたが何をしたか6～7行程度にまとめ具体的に記入してください。
 ・伝送交換と線路業務を兼務した期間は、受検種別(伝送交換又は線路)に対応する業務内容のみを記入してください。
 ・受検種別に対応する(工事: %、維持: %、運用: %)のみ合計が100%になるよう配分してください。

⑥ 「指導監督の実務経験期間」欄
 ・係長以上の職位の場合に記入してください(課長補佐、課長等)。経歴期間は再掲です。

⑧ 「申請者」、「代表者、証明担当者」欄
 ・申請者に記載内容等を確認する場合がありますので、平日昼間に確実に連絡の取れる電話番号(携帯並記)を記入してください。
 ・代表者、証明担当者とは電気通信事業者又は電気通信事業者と直接請負契約を行っている会社の方です。
 ・代表者、証明担当者毎に経歴証明書を作成してください。
 また、申請書作成年月日は証明年月日より後になることはありません。

⑨ 添付書類(この経歴証明書と試験申請書のほかに、申請書を送付する封筒に同封してください)
 申請する学歴(大学、短大、高専、高校等)の卒業証明書(原本)。
 申請する学歴の履修科目・単位取得を証明するもの(成績証明書等、原本)。
 従事した電気通信事業者との請負契約書の写し(証明者が電気通信事業者でない場合)。
 従事した電気通信事業者の登録通知書、許可状又は届出受理書の写し(事業用電気通信回線設備がわかるネットワーク構成図を含む)。

上記のとおり相違ありません。
 証明書作成年月日 ○○○○年 ○月 ○日
 申請者氏名 山田 三郎
 生年月日 昭和 60年 ○月 ○日
 連絡用(勤務先等) (03) 1234 - 1234
 電話番号 090 - 1234 - 1234
 電子メールアドレス s.yamada@xxx.co.jp
 平日昼間に連絡の取れる電話番号(携帯並記)を記入してください。

上記のとおり相違ないことを証明します。
 証明年月日 ○○○○年 ○月 ○日
 証明者住所(会社住所) 東京都千代田区九段1-1
 証明者氏名(名称及び代表者氏名)
 会社名 ○○通信(株)
 代表者氏名 代表取締役社長 果嶋 太郎
 証明担当者役職名 人事部長
 証明担当者氏名 果嶋 次郎
 電話番号 03 - 1234 - 5678
 電子メールアドレス j.sugamo@xxx.co.jp
 (記入不要)

| | | |
|-----|------|------|
| 審査者 | 一次審査 | 二次審査 |
| | ※ | ※ |

(注) 申請者及び代表者(又は証明担当者)に、記載内容についてのお問合せ、記載内容の不備の訂正又は、必要な資料等の提出を依頼する場合がありますので、あらかじめご了承ください。このため、経歴証明書の写しをとっておいてください。